

日本自動車ターミナル

「五十年史」と「記念写真集」を刊行



日本自動車ターミナル（本社・東京都千代田区、関谷保夫社長）はこのほ

ど、「日本自動車ターミナル五十年史」を刊行した。同社は1965年に設立。昨年50周年を迎えたことを機に、既刊の「三十年史」などを踏まえた上で、新たな社史として「五十年史」を編纂した。

本書を通じて同社設立からの50年の歴史を振り返ることにより、現代に至る物流近代化の歴史の重要な側面を知ることができる。

「日本自動車ターミナル五十年史」はA5判・クロス装の製本で、特殊紙を用いた貼函に収められた書籍。総ページ数は454ページ。書家の武田双雲氏が力強く優雅な文字により題字を揮毫している。

また、同社では社史と同時に、設立50周年を記念して、都内4カ所に展開するトラックターミナル（京浜（大田区）、板

橋（板橋区）、足立（足立区）、葛西（江戸川区））を被写体に収めたオールカラーの写真集「Around 50th Portraits of Truck Terminal」を刊行した。同写真集は物流の世界でトラックターミナルが果たしている重要な役割を美しいピジュアルを通して表現したもの。撮影は写真家の伊那英次氏が担当した。同写真集はA4横判・オールカラー・40ページ。

「日本自動車ターミナル五十年史」と記念写真集は非売品だが、物流に関わる行政や各種団体および企業など関係各所へ寄贈されている。

